

営農ウィークリーNEWS

JA京都中央管内の京野菜等クイズ

立春を過ぎましたが、まだまだ寒い日が続き、冬野菜の収穫や管理、春野菜の種まきや植え付けの準備をする頃となりました。

当JA管内では、季節によって様々な作物を栽培していますが、その中でも管内で栽培されている京野菜（酒米含む）についてクイズを5問出題します。○×でお答えください。

- 問1. 九条ねぎが京都で栽培されたのは800年ほど前からである。
問2. 花菜は切り花として利用されていた。
問3. 食用だけのこの代表である孟宗竹は九州に導入され、日本各地に広がった。
問4. みず菜にはビタミンEや食物繊維が豊富に含まれている。
問5. 酒米「祝」の栽培は一度途絶えている。



「九条ねぎ」



回答 「花菜」

「たけのこ」

「みず菜」

「祝」

- 問1. × 今から1300年ほど前。和銅4（711）年に京都で栽培との記録があり、その原種は浪速（大阪市）から導入されたと言われている。
- 問2. ○ 古くは燈火用の油を絞る用途であったものが、伏見桃山地区でさらに切花用にと栽培され、近年になって花茎を野菜として利用されるようになった。
- 問3. × 今から1200年ほど前の弘仁年間（810～823年）に現在の長岡京市にある海印寺寂照院の開祖道雄上人が唐から持ち帰ったとされている。
- 問4. ○ その他カルシウム、カリウム、ビタミンCも多く含まれており、鍋料理やサラダ、浅漬け、おひたしなど様々な料理に使われている。
- 問5. ○ 昭和8年に当時の京都府立農事試験場丹後分場で誕生した酒米で、高品質と高い評価を受けていたが、高い草丈が機械化に適さず、昭和48年を最後に栽培が途絶えた。その後、「京都の米で京都の酒を造りたい」とする機運が高まり、関係者一丸となり復活に取り組み、平成4年から再び栽培が開始された。

—TAC information—



新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている方への支援や京都府農林水産物の消費喚起を目的に、「京料理、地元農林水産物持続支援プロジェクト」が立ち上げられ、京都の食材を使ったレシピ動画が配信されています。当JA特産「花菜」を使用した動画も近日公開予定です！

「特産「花菜」を使用した
レシピ動画がYouTubeで公開！」



おうちで料亭ごはん

で、検索！



【春夏編】ジャンボタニシの防除対策（移植水稻）

春夏期には、以下の防除対策を実施し、水路から水田への侵入を防止するとともに、移植苗の食害を避けることが重要です。



(注) 石灰窒素の使用回数は1回のため、秋期に散布した場合には、田植え前には散布できません。

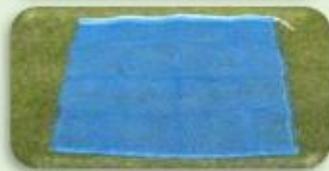
○田植え前の石灰窒素（発生量が多い場合に実施）

いつ・どのように

- ・水温が17℃以上の時期に、3～4日間湛水を保った後、石灰窒素を散布。
- ・稲への薬害を避けるため、代かき後2～3日（散布から7日）以上後に田植え。

留意事項

- ・魚毒性が高いため、漏水を防止し、散布後7日間は落水・かけ流しはしない。
- ・窒素成分を多く含むため、元施の量を減らす調整が必要。



○水口網の設置（水路に発生している場合に実施）

いつ・どのように

- ・田植え前の入水時から田植え後3週間まで、取水口・排水口に9mm目合い程度のネットや金網を設置し、水路で越冬した大型の貝の侵入を防止。

留意事項

- ・網の目が粗すぎると小さな貝がすり抜け、細かいとゴミが溜まりやすい。

○浅水管理（発生している場合に必ず実施）



いつ・どのように

- ・水深が浅いと貝の摂食行動が抑制されるため、田植え後約3週間の幼苗期の水深を4cm（理想は1cm）以下に維持。

留意事項

- ・水田内を均平に保ち、水深が深くなる場所を減らすことが重要。
- ・浅水管理が困難な場合は、薬剤散布との組合せにより被害を防止。



○田植え時の薬剤散布（発生している場合に必ず実施）

いつ・どのように

- ・田植え時に、貝の発生状況に応じて、効果が高い薬剤を全面散布、貝が集まる深水部分への重点的な散布等を実施。

留意事項

- ・散布後しばらくの間、確実な効果のため、止水管理が必要。

(例) メタアルデヒド粒剤：本貝に対する誘引性があり、摂食による殺貝効果がある。

磷酸第二鉄粒剤：有機JAS規格に適合し使用回数に制限がなく、摂食による殺貝効果がある。

チオシクラム粒剤：徐々に溶け出し、多雨時でも本貝へのマヒ効果が見込め、食害防止効果がある。